

○TDR30周年効果や中国人観光客が戻ってきたことなどを背景に、県内ホテルの稼働率は高水準で推移。東京オリンピック招致決定で、今後も宿泊需要が強まるとの見方が多い。

県内の多くのホテルでは、夏場以降前年を上回る稼働率となっている。主な要因としては、①30周年を迎えたTDRが国内外から多くの来場者を集めていること、②春先から増えていた東南アジアからの観光客に加え、尖閣問題発生以降減少していた中国人観光客が9月に入り再び増加に転じていること、③アベノミクス効果でマインドが高揚し、ビジネス客や個人客の需要が増加していること、などがあげられる。

TDRでは今年開業30周年を迎え、記念イベントや新アトラクションが人気を集めており、4～9月の入場者数は、過去最高だった前年を更に15.9%上回る1,536万人を記録した。国内外から訪れた来場者は舞浜地区・浦安地区のホテルだけでは収容しきれず、幕張地区・千葉地区のホテルにも宿泊した。ベイエリア地区のホテル稼働率は軒並み前年を上回っており、「8月単月の売上は過去最高」との声が複数の先から聞かれた。

春先から、東南アジアからの観光客が増加基調にあったが、これに加え昨年9月に起きた尖閣問題をめぐる日中間の対立以降激減していた中国人観光客がここにきて急速に回復している。成田空港周辺のホテルの中には、9月入り後1日に200人程度の中国人観光客の宿泊があり、尖閣問題発生前の水準に戻ったとの声が聞かれる。また、木更津地区のホテルでは、9月に入り毎日バス1台分の中国人観光客を受け入れている先もある。

ヒアリングでは、「宿泊者の財布の紐が少し緩くなってきたと感じている」「株高で当ホテル宿泊者のマインドは良くなっている」との声も聞かれた。アベノミクス効果による実質的な個人資産の増加やマインドの高揚が、プチ贅沢と考えられるホテルへの宿泊需要を後押ししている。アベノミクスによる円高修正も外国人観光客の来日を促す材料となっており、旺盛なホテル需要は、日本人と外国人観光客の両者に支えられているといえる。

最大で1,000万人の来場が予想される東京オリンピックの招致が決定したが、県内ホテル業界では、都内のホテルだけではすべての宿泊需要をまかないきれないため、県内ホテルの需要も増加するだろうとの期待感が高まっている。オリンピックは大会期間中だけではなく、海外の視察団やメディアなどの宿泊需要は事前段階から大きいはずで、県内では既に海外報道関係者から宿泊の打診を受けている先もある。こうしたことから、2020年のオリンピック開催に向けて、県内ホテルは好調が続くとの見方が多い。また、千葉県は東京に隣接していることから、選手の移動負担が軽減されるため、競技本番前の選手のキャンプ地としてのニーズも高く、県内では合宿地に積極的に立候補したいとの声も聞かれる。県が主導して民間のホテルと連携しながら選手団の合宿の誘致活動を行っていくなど、今後官民が一体となって、東京オリンピックのプラス効果を県内に呼び込みたいものである。(弓野)

幕張地区 ホテル	・TDR30周年イベントの効果で都内ホテルの需要が高まり、宿泊客が幕張地区まで流れてくるといった要因もあり、宿泊部門は非常に好調 ・オリンピック開催で、千葉県内のホテルにも好影響が及ぶだろう。開催期間中の特需はもちろん、今後7年間にわたり首都圏全体の宿泊需要が底上げされ、幕張地区も間接的な恩恵を受けることが期待できる
千葉地区 ホテル	・6月ごろからTDRの30周年イベント効果がより顕著になってきており、稼働率は高水準で推移。千葉地区では8月は稼働率が9割を超えたホテルも多く、TDRの恩恵を大いに受けていると認識している ・インバウンドは、中国人がやや戻ってきたほか、東南アジア人も増えている ・オリンピック開催で、観光客やメディアの動きが活発になり、予約が取りづらくなるのではないかと
成田地区 ホテル	・昨年9月に起こった尖閣諸島を巡る日中政府間対立から今春まで激減していた中国人宿泊客は、ここにきてものすごい勢いで回復し、ほぼ震災前の水準まで戻った。宿泊する中国人は非常に友好的で、民間レベルでは尖閣問題は解決に向かっている。またLCC利用者の宿泊需要も増加している ・最近では宿泊客の財布の紐が少し緩くなってきたと感じている。アベノミクスによる影響もあるのではないかと
木更津地区 ホテル	・中国人観光客が日中対立前の水準まで戻っており、バス1台分程度の宿泊客をほぼ毎日受け入れている。7～8月は夏休みをとる暇もないくらい忙しかった。低迷していた稼働率は7～9月期は採算が取れる水準にまで回復した。政府間では日中対立が続いているが、中国人の一般市民はもう気にしていないのではないかと ・木更津は、東京オリンピックの会場からアクアライン経由で近く、オリンピック関連の宿泊需要は強いはず
南房総地区 ホテル	・宿泊客の中には株高の資産効果を受けている人もおり、アベノミクスでマインドは良くなっているように感じる ・五輪開催は、千葉県の観光産業にとっては追い風。できれば本大会前の選手団の合宿地に立候補したい ・成田空港には相当数の観光客が訪れるが、ほとんどが東京に直行、もしくはTDR止まりで、南房総方面には来ていない。これをなんとか南房総までもってきたい